

平成 27 年度第 2 回鹿児島市交通事業経営審議会 会議概要

○ 日程・場所・出席者

(日 程) 平成 27 年 11 月 2 日 (月) 11:00~12:00

(場 所) 交通局 3 階 第 2 会議室

(出席委員) 委員 7 名

(事 務 局) 交通局総合企画課

○ 議事・配付資料

- (議 事) (1) 平成 26 年度鹿児島市交通事業特別会計決算
(2) 経営健全化計画における平成 26 年度目標効果額の達成状況
(3) 交通事業経営健全化計画重点取組項目等の平成 27 年度上半期実施状況
(4) 鹿児島市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン(案)」・「総合戦略(案)」について

(配付資料) 資料① 平成 26 年度鹿児島市交通事業特別会計決算

資料② 平成 26 年度目標効果額の達成状況

(参考資料) 鹿児島市交通事業経営健全化計画重点取組項目等の平成 26 年度実施状況

資料③ 鹿児島市交通事業経営健全化計画重点取組項目等の平成 27 年度上半期実施状況

資料④ 鹿児島市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン(案)」及び「総合戦略(案)」概要版

○ 協議の概要

(1) 平成26年度鹿児島市交通事業特別会計決算

委員の主な意見・質疑等	
1	<p>料金収入の減少について、定期は好調だったものの、一般の運賃収入が減ったという説明だったと思うが、何か理由が考えられるだろうか。</p> <p>(事務局回答)</p> <p>現在、分析しているところだが、基本的に乗客数が減少している中で、定期は昨年度実績を上回っている。これは(電車の)定期に関し、消費税率の引き上げに伴う料金改定を実施しなかった部分が影響しているのではないかと考えている。</p>
2	<p>今回の決算をまとめると、(計画に比べ)好転しているということだと思うのだが、事業規模そのものが少々小さくなっており、その辺りが今後の課題ではないかと感じた。</p>

(2) 経営健全化計画における平成26年度目標効果額の達成状況

委員の主な意見・質疑等	
1	<p>(効果額について)目標は達成しなかったが、全体的には、資産が売却できていれば改善していた、ということで理解したが、人事交流による効果額については、人件費に関する増減なので、ある程度事前にコントロールできるものではないのか。</p> <p>(事務局回答)</p> <p>市長事務部局との人事交流になるが、交通局等の企業と市長事務部局との間で、人事交流した職員が退職を迎えた場合、その退職者が在籍している会計で退職金を支出する制度となっている。例えば、26年度の退職予定者が事前の人事交流で市長事務部局に異動していれば、当該職員の退職金分の支出が減るという見込みを立てるが、人事交流で異動した職員の年齢が26年度の退職予定者ではなかった場合、退職金分の効果は出ないこととなる。</p>
2	<p>(一日乗車券販売による効果額について)主要な旅行代理店での一日乗車券の委託販売が終わったために、その減少がかなり影響したという説明だったが、この取組を復活させた方がいいのか、それともこのままやめた方がいいのか、その辺りの検討は行っているのか。</p> <p>(事務局回答)</p> <p>これは、旅行会社が持っている旅行パッケージの中にクーポン券として一日乗車券を組み込んでもらっていたが、相手方がこの企画を取りやめてしまったというもの。我々も継続してくれるよう働き掛けを行ったが、相手方の企画ということもあり、どうしようもない部</p>

委員の主な意見・質疑等	
(前頁の続き)	<p>分もある。</p> <p>しかしながら、旅行代理店だけに頼った一日乗車券の販売ではなく、市内の新設されるホテルや中央駅周辺のローソン等での一日乗車券の委託販売を行うなど、販路の拡大に努めているところである。この分の効果額については、達成率 100%に届かなかったが、少しでも上向くような努力を行っている。</p>
3	<p>乗車前に一日乗車券があることを知れば、「使ってみようかな」と思う旅行客がいる可能性はあると思う。ホテルなどに対し、例えば「商品にくっつけてもらえないか」というような提案を行うなど、どんどん営業を行う方法もいいのかもしれない。</p>

(3) 交通事業経営健全化計画重点取組項目等の平成 27 年度上半期実施状況

委員の主な意見・質疑等	
1	<p>市職員への業務提案を募集し、5 件の応募があったということなので、実際の成果に結びつくことを期待したい。</p>
2	<p>新幹線等での観光客に PR するという項目について、新幹線に備え付けられている冊子に、例えば市電が通っているとか、どんな経路があるとか、着く前にイメージが掴めるような情報が掲載できれば、鹿児島での行動のヒントになるのではないかと。計画を立てて来られる方やスマートフォン等で調べる方もいると思うが、そういったことが面倒臭いと思う方もいると思うので、JR との関係もあるかもしれないが、新幹線を降りてからではなく、乗車中に知ってもらおう手立てがあればいいと思う。</p> <p>(事務局回答)</p> <p>新幹線内での PR については、なかなか難しい面があるが、中央駅内の総合観光案内所のカウンターで、一日乗車券についての表示をしていただいております、以前よりは PR ができるようになった。</p>
3	<p>「販促に努めた」ということで、グッズを作って販売するなど努力していることは分かるが、(新商品の)ラスクができたことも交通局に来て初めて知った。PR については、おそらく電車の中にもポスター等を出すと思うが、みんなが分かるように、例えば「新しい車両が入る」というような情報なども出せば、「乗ってみようかな」と思うこともあるのでは。やはり PR は大事で、どこで行うかということもあると思う。</p> <p>(事務局回答)</p> <p>言われるとおりで、現在はなるべくお金を掛けずに PR できる媒体として Facebook 等を使っているが、やはり知恵を絞らないといけな</p>

委員の主な意見・質疑等	
(前頁の続き)	<p>いと思っている。26年度には、観光客向けのフリーペーパーに、一日乗車券を利用したモデルコースに関する企画を持ち込み、掲載してもらったことで、観光客の方々に見てもらえる可能性が高まったのではないかと考えている。いずれにせよ知恵を絞って、有効な手段を検討したいと思っている。</p>
4	<p>先日は LRT 都市サミットに行ってみたが、他都市のPRの取組など参考になった。例えば、小さな電車型の最中などもあったので、ラスクもいいと思っているが、そのようなグッズの更なる開発も期待したい。市民の足でもあるが、観光というものも大きな柱だと思うので、どんどん発展してもらいたいと思う。</p> <p>観光レトロ電車の貸切なども取り組んでいるが、いろいろな使い方を提案するなどして、利用を増やしてもらいたいと思う。</p> <p>(事務局回答)</p> <p>本来の交通事業のサービスはもちろんのこと、そのような付帯的なものでも、少しでも収入が上がるように取り組んでいるので、新しい商品の開発については、どのような傾向のものが好まれるのかといったことなど、他都市の状況も調査しながら研究していきたい。</p>

(4) 鹿児島市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン(案)」・「総合戦略(案)」について

委員の主な意見等	
1	<p>鹿児島市の高齢化率は絶対数が多いので県内で一番低いが、高齢者が増えていけば、旅行者もそういった方が増えてくると思う。高齢者のイメージも交通弱者だと決めつけられないわけで、どんどん来てほしいし、元気な人も来ると思う。そう考えると、観光で高齢者が魅力を感じるとか、市内の交通機関が利用しやすい、という視点が一つの大きな柱になると思う。</p> <p>また、全体的なことでは、以前から言われていることだが、人口減少時代なので、若者が安心して子育てできるように、経済的な制度がもっと充実していくと、頑張っても出産・子育てできるかと思う。</p> <p>交通局に関することでは、高齢者や様々な観光客への対応として、分かりやすく利用しやすい交通機関となるよう、簡潔に利用者に伝えるような案内を考えてもらいたい。</p>
2	<p>市内への自動車の乗り入れ規制のようなものの実施について、このような機会に、検討あるいは考えてみる価値はあるのではないかと考えている。そのような取組によって、渋滞が解消し、バスの運行もやりやすくなる。運行がやりやすくなれば、利便性が高まり、乗客も増加するという側面が出てくると思う。しかし、一方で「それは困る」という人も多いただろうから、少々時間を掛けて議論しなければならないと思っている。この際、そのようなアイデアを入れてみてはどうだろうか。</p>